

受け継がれる 活動と思い

ごみ拾いする日を決めて、町全体の人に参加するよう呼び掛けては——。生徒模擬議会での提言により平成9年に始まった町内一斉清掃「ごみ0作戦」。毎年多くの町民が参加し、町を挙げて清掃活動に取り組んでいます。



ごみ0作戦の様子（織笠地区）

「ごみ0作戦」は、平成7年に開かれた生徒模擬議会で寄せられた提言により平成9年からスタートした町内一斉清掃活動で、町や教育振興運動実践協議会、老人クラブなどが中心となって毎年行われているものです。本年のごみ0作戦は7月7日の午前6時から実施。当日は2480人が参加し、道路脇に捨てられた空き缶や海岸に打ち上げられたペットボトルなどを拾い集め、町内全体で1・3㍓のごみが集まりました。

ごみ0作戦以外にも、各団体などで独自に清掃活動に取り組んでいる所もあり、町をきれいにするの第一歩です。

きれいな山田でいてほしいと願うこと。それがきれいな町づくりの第一歩です。

参加してInterview



西館真寿美さん（船越・31）

ごみ0作戦には、今年小学生になった娘と初めて参加しました。わたしたちは浦の浜海水浴場でごみ拾いしましたが、小さなごみだけでなく意外と大きなものもあって驚きました。来年も参加していきたいと思います。



赤瀬満輝君（織笠小6年）

今日は父と母、兄の家族4人で参加しました。これまでずっと参加してきましたが、以前よりごみが少なくなっているように感じました。山田からごみがなくなってきれいな町になるように、これからも参加していきたいです。

終わりに

ごみのポイ捨てや不法投棄のない町にするため、わたしたちには何ができるのでしょうか。いつまでも美しい自然のある山田でいてほしいという思い。わたしたち一人一人がこの思いを持って活動し、次の世代につないでいくことが一番大切なことかもしれません。